

# 令和2年度 田原本町社会福祉協議会事業報告

## 1. 事業実施概要

令和2年度は、依然として収束の兆しが見えないコロナ禍において、感染症対策に十分な留意をしながら、人や地域とのつながりを絶やさないような地域活動の推進と、生活福祉資金制度による特例貸付事業での相談受付をはじめ、支援が必要な方と途切れることのないような援助活動に努めました。

各事業の遂行にあたっては、基本方針である“住民と共に歩む社協”として、住民をはじめとする多様な地域関係者と共に、「地域福祉活動計画」に基づき、住民主体と地域の実情に応じた活動が活発・着実に展開されるように実施しました。

### 事業の組み立て

- (1) 地域福祉活動の推進 — 福祉の理解を深める取り組みを通じた、地域福祉活動が活発に展開される基盤づくり —
- (2) 生活支援事業の推進 — 利用者に寄り添う支援活動を基本に、各関係機関との重層的な連携体制の充実 —
- (3) ふれあいセンターの管理運営 — 指定管理者として、福祉と経営からの双方の視点を大切にした堅実な施設管理と運営 —
- (4) 事務局運営の充実強化 — 地域ニーズに即応した事業展開のための計画的な事務局運営体制づくり —
- (5) 専門職の派遣による福祉施策の充実 — 福祉関係等専門職の派遣により、専門性と安定を併せ持った福祉施策への展開 —

## 2. 各施策・事業の実施状況 【〔 〕 前年度実績、中止…新型コロナウイルス感染症拡大防止のため】

### (1) 地域福祉活動の推進

#### 1)地域での支え合い・助け合い活動の推進

##### ◇地域のつながり強化—地域力強化推進事業（町委託事業）—

職員が積極的に地域に出向き、世代や分野を超えて皆で支え合える、住民主体の地域づくりができるよう、地域における取り組みを支援

- ・活動者・地域への支援…331件〔407件〕 ・職員参加会議体数…7
- ・助け合い・支え合い活動の組織数…3グループ(生活支援2、見守り1)
- ・町長寿介護課開催「いきいき百歳体操世話役交流会」での活動報告…11/17
- ・町ボランティア連絡協議会研修会において「コロナ禍でのボランティア活動の意義」について講義…12/9

##### □新「たわらもと手作りマスクバンク」の設置

住民同士による支え合いを目的に、手作りマスク等の寄贈を受付し、マスクの購入や確保が困難な一人暮らし高齢者や障がい者、一人親世帯等へ無償で配布

- ・受付枚数…39,740枚（布1,849枚・不織布37,876枚）
- ・配布枚数…28,956枚（医療機関、学校、福祉事業所等含む）

## 2)福祉教育の充実

◇福祉教育推進連絡会（小・中学校の担当教員、社協で構成）…中止

◇小・中学校等における福祉体験学習等の職員派遣及び関係団体との調整  
（参加件数：4件〔5件〕）

- ・田原本中学校1年生 11/6 車椅子・アイマスク・高齢者疑似体験・要約筆記・  
認知症体験ツアー養成講座  
（町内福祉施設職員、ボランティアの協力）
- ・平野小学校4年生 11/13 車椅子・アイマスク体験
- ・田原本小学校4年生 1/26 車椅子体験
- ・東小学校3・4年生 2/8 車椅子・アイマスク体験

◇町内各小・中学校、磯城野高等学校、高等養護学校への福祉教育及び学校ボランティア活動への助成…計9校

## 3)幼児の健全育成と子育て支援

◇幼児教室（町委託事業）

すいせんの会（民生児童委員、主任児童委員から組織）の協力により、就園前の幼児と、その保護者を対象に集団遊びや季節行事の開催

- ・開催日数…3回
- ・参加者数…10/1：17名(7組) 12/7：25名(10組)  
2/19：20名(8組)

☑ファミリー・サポート・センター事業（町委託事業）

子育ての援助をして欲しい人（依頼会員）と、援助したい人（援助会員）が会員として登録し、有償で行う住民相互の援助活動の調整

- ・依頼会員…9名
- ・援助会員…19名
- ・調整件数…4件
- ・援助会員養成講座の開催…1/22、28（参加者22名）

## 4)高齢者の生活支援と社会参加の充実

◇福祉給食・見守り事業

一人暮らし高齢者等へ、見守りを兼ねた昼食の調理・配食をボランティア（ふれあいの会、なでしこの会、男性の民生児童委員有志）の協力により実施

- ・実施回数…48回〔48回〕
  - ・対象者数…46名〔43名〕（内、新規…5名〔3名〕）
- ※4、5月はパンによる配食を実施

☑生活支援活動の充実と社会参加支援（町委託事業）

地域住民や多様な実施主体による生活支援活動の創出や、高齢者自身の社会参加促進にむけた地域づくり支援

- ・地域活動支援…32件（住民主体活動の支援、アンケート調査等）
- ・ボランティア活動支援…99件（援助活動の担い手、元気高齢者の居場所づくり等）
- ・関係機関との連携、ネットワークづくり等…25件（会議、研修会の参加等）

◇友愛訪問活動の推進（町老人クラブ連合会との連携）

老人クラブ女性部による会員相互の見守り訪問活動の推進

- ・対象者数…134名〔130名〕
- ・一人暮らし老人慰安会…中止
- ・友愛活動研修会…中止
- ・手作りマスク作成と見守りを兼ねた訪問活動を実施…10/15、29

## 5)ボランティア活動支援

### ◇ボランティアセンター運営

- ・相談、ニーズ調整及び情報提供並びに啓発活動などを実施（随時）

### ◇ボランティア活動保険加入

- ・一般ボランティア活動…620名〔684名〕
- ・行事ボランティア活動…13件〔16件〕
- ・送迎ボランティア活動…1件〔1件〕
- ・福祉サービス総合補償…1件〔3件〕
- ・事故報告件数…1件〔1件〕

### ◇下記団体への活動助成 7団体〔6団体〕

- ・OHP田原本
- ・田原本町手話サークルしきの会
- ・ボランティアグループぶりっじ
- ・田原本おはなし会
- ・たすけあいの会「コスモス」
- ・“生き粋サロン”ふれあいコスモス

新 たわらもと傾聴

### ◇レクリエーション物品貸出事業（ふれあいセンターとの連携）

- 住民主体による集いの場等で使用できるゲームや体操用具等の貸出
- ・社協受付件数…5件（マイクセット、プロジェクター、玉入れ等）〔17件〕
- ・ふれあいセンター受付件数…1件（バランスボール）〔6件〕

## 6)福祉を身近に感じる機会づくり

### ◇住民参加による繋がる赤い羽根共同募金事業…中止

## 7)福祉関係団体活動支援

### ◇田原本町共同募金委員会

地域福祉活動を積極的かつ計画的に展開するための財源を安定化し有効活用するために、下記会議を開催

- ・運営委員会…6/2、3/19
- ・審査委員会…2/24

### ◇下記団体の運営事務及び、研修会の企画・開催等を通じた地域福祉関係者間との連携を推進

- ・町民生児童委員協議会
- ・町老人クラブ連合会
- ・町ボランティア連絡協議会
- ・町身体障害者福祉協会
- ・町母子寡婦福祉会
- ・町遺族会
- ・「英霊にこたえる会」田原本町支部
- ・磯城郡遺族会
- ・磯城郡老人クラブ連合会

### ◇下記団体への活動助成

- ・町老人クラブ連合会
- ・町身体障害者福祉協会
- ・町母子寡婦福祉会
- ・町遺族会
- ・どんぐりの会
- ・のぞみ会田原本町支部
- ・町ボランティア連絡協議会

## 8)磯城郡社会福祉協議会への参画

### ◇磯城郡社会福祉功労者表彰式への参加…10/12

### ◇郡域福祉団体・ボランティア団体への活動助成…7団体

## (2) 生活支援事業の推進

### 1) 相談支援

#### ◇心配ごと相談事業（原則第4木曜日開催）

- ・開催数…11回〔12回〕　・相談者数…14名（内、面談者9名）〔16名〕
- ・相談種別  
内訳）住宅関係…5件、生計・職業・生業問題…2件、福祉関係…4件、  
家族関係…5件、離婚問題…1件、財産問題…6件、  
人権・法律問題…9件、事故関係…0件、苦情関係…1件  
その他（消費者金融関係等）…4件　計37件（重複問題含む）〔25件〕
- ・相談員研修会…3/23、相談件数及び内容の報告等

#### ◇生活福祉資金貸付事業（奈良県社会福祉協議会との連携事業）

- ・総件数…494件〔128件〕
- 内、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急小口資金等特例貸付
- ・緊急小口資金等特例貸付…185件
- ・総合支援資金等特例貸付（初回、延長、再貸付）…184件

#### ◇緊急小口資金貸付事業（善意銀行への寄附金を原資として実施）

- ・新規件数…46件〔57件〕

#### ◇フードレスキュー事業（奈良県社会福祉協議会との連携事業）

- 窮迫した生活困窮者等へ安心・安定した相談支援活動を展開していくことを目的とした緊急的食料支援の実施
- ・延利用者数…51件〔71件〕

#### ◇日常生活自立支援事業（奈良県社会福祉協議会との連携事業）

- 生活支援員の訪問等により福祉サービスの利用援助を実施
- ・総件数…5件〔5件〕
  - ・支援員訪問回数…80回〔108回〕　・訪問時間数…83.5時間〔108.5時間〕

### 2) 障がい者・児への社会参加と生活支援

#### ◇障がい児レクリエーション事業（町委託事業）

- 療育手帳、身体障害者手帳、精神保健福祉手帳を所持する児童等とその家庭を対象とした、交流会の実施
- ・参加者数…38名〔102名〕（内訳、対象者：16名〔35名〕、付添者：22名〔67名〕）
  - ・開催日及び内容…9/5、THE KASHIHARAにて、家族単位での食事及び、ボランティアグループ「紬」による音楽ショーの開催

#### ◇ほのぼのサロン（原則第2・第4水曜日開催）

- 主に精神障がい者等を対象に、交流の場づくりと社会参加への機会提供を目的としたサロンの開催（内容：スポーツ、レクリエーション、道の駅散策など）
- ・サロン…7回〔11回〕、延べ参加者数…56名〔90名〕
  - ・カフェ…1回〔11回〕、延べ参加者数…6名〔87名〕

#### ◇障害者等相談支援事業（町委託事業）

- ・障害者特定相談支援事業

障がい者が安心して自立した日常生活を送れるよう、福祉サービス利用に関する情報提供や相談などを行い、また、障害福祉サービス等を申請した方への計画作成や見直し

相談・情報提供…2,230件（来所、訪問、会議等）[2,367件]

計画作成・見直し…81件〔47件〕

・障害者一般相談支援事業

施設や病院から退所・退院するにあたり支援が必要な障がい者への地域移行に関する相談支援（地域移行支援）や、継続した地域生活が不安定な障がい者に対し、見守りなどの連絡体制の確保など地域で密着したサポート（地域定着支援）の提供

相談・情報提供…1件〔1件〕

◇磯城郡地域自立支援協議会への参画

磯城郡における行政・障害福祉事業所・当事者団体等で構成される協議会への参画

・運営委員会、相談支援部会への出席

・加入団体数：52団体〔52団体〕

3)福祉用具貸出事業

◇福祉用具(電動ベッド、車椅子、送迎車両)貸出事業

町内在住者に対し、下記物品を貸与

・車椅子貸出件数…56件〔71件〕 ・車椅子乗降対応型車両貸出件数…34件〔56件〕

・電動ベッド貸出件数…0件〔0件〕

◇3人乗り自転車貸出事業（町補助事業）

1歳以上6歳未満までの子ども2人以上を養育する保護者に対し、3人乗り自転車を貸与

・新規利用者/総利用者数…7名/16名〔3名/20名〕 ・所有台数…27台〔26台〕

・安全運転講習会の開催…4/20、9/24

(3) ふれあいセンターの管理運営

◇施設管理運営

新型コロナウイルス感染症感染・拡大防止のため以下の期間を休館し、またサービス提供を見合わせました。

・4/1(水)から5/31(日)まで全館休館

・6/3(水)から浴場利用を再開

・7/1(水)から児童館、喫茶コーナーを再開

・年間を通して…給食、カラオケ、囲碁、将棋の利用を休止

・開館日数…206日〔251日〕

・利用者総数…21,384名〔37,462名〕

・児童館利用者数…2,866名〔7,294名〕

・浴場利用者数…17,512名〔25,648名〕（内、介助浴…213名〔242名〕）

・喫茶利用者数…3,132件〔7,435件〕

◇新型コロナウイルス感染症感染・拡大防止に関するセンターの主な取り組み

・館内消毒・換気の徹底…館内各所のアルコール消毒、館内換気徹底と空気清浄機設置

等を行い、感染予防に努めました。

- ・注意喚起、周知徹底…入館時のマスク着用、手指消毒、検温への協力及びポスター設置等で注意喚起及び周知の徹底を行いました。
- ・浴 場…人数制限を設け、浴場前に待合を作る等、密にならない環境づくりに取り組みました。
- ・児童館…子どもへの習慣づけを目的に、児童館入館の際に手洗いを慣行しました。
- ・その他…マスクのつけ忘れ等、来館者同士で声を掛け合い、互いに気を付け合う環境づくりに取り組みました。

◇ふれあいセンター事業運営委員会

- ・新型コロナウイルス感染症感染・拡大防止のため書面決議により実施

◇浴場、喫茶コーナー以外の通常行事等を全て中止しましたが、以下のことに取り組みました。

- ・ハロウィンお菓子すくい：高齢者や親子等、来館者全員が一体的に楽しめる催しとして開催（10/31）
- ・ふれあいちょこっとバザー：コロナ禍での様々な制限等にご協力いただいた来館者に感謝と労いの気持ちを伝える場として実施（3/27）
- ・イベント風呂（浴場）：生活の中に楽しみを持っていただけるよう、利用者の方々から意見等をいただき、お茶風呂・ひのき風呂等を開催（全5回）
- ・各種相談事業の実施  
健康相談：血圧測定や健康に関する相談（2,698名）  
児 童 館：子育て等に関する相談を随時受付し、必要に応じて関係機関との情報共有等の連携に努めました。  
そ の 他：福祉に関する相談を随時実施するとともに、必要に応じて関係機関との連携を図ることで、見守り体制の構築に努めました。

◇来館者の意見等を取り入れたセンター運営のための取り組みについて

- ・アンケート調査の実施  
来館者の方々センターを利用するにあたって、適切に運営できているかの確認及び新しい事業展開を踏まえたニーズ調査の実施（1回、全館対象）  
またボードを活用した、イベントの感想等を気軽にもらえる機会づくり（4回）
- ・ホワイトボードの設置  
センターからの情報発信だけではなく、来館者からも自由に意見等が伝えられる双方向でのコミュニケーションツールとして活用。（随時）  
上記をセンター運営に反映させるよう取り組みました。

#### (4) 事務局運営の充実強化

##### 1)事務局運営

◇理事会及び評議員会

- ・理事会…6/2、3/19
- ・評議員会…6/24、3/29

◇善意銀行の運営

- ・一般寄附…260,494円/23件〔538,071円/27件〕

- ・物品寄附…マスク13件、絵本25冊、本棚1台、フロアマット1台

◇社協賛助会員の募集による社協会員制度の拡充

- ・個人、団体会員…29件/310,000円〔28件/303,000円〕
- ・賛助会員…2件/10,000円〔3件/15,000円〕

◇「地域福祉活動計画」進捗状況確認のための中間評価会議の実施…3/22  
(町「地域福祉計画」との合同実施)

2)広報・情報提供機能

◇広報「よろこび」発刊事業

- 年3回発刊。全戸配布、及び赤い羽根共同募金協力企業等への送付
- ・発刊月…7月、10月、2月

◇ホームページの運営

- 社協の各種事業、共同募金運動などについて適時更新

◇町広報紙、情報紙「田原本ダイスキ！」への本会に関する情報の掲載

- ・情報紙掲載月…4月、8月、12月、2月

3)各関係機関との連携・協働の充実

- ・日本赤十字社田原本町分区に関する社資募集事務
- ・役場関係部署や中和福祉事務所などへ低所得者や複合課題ケース等への支援に係る調整を行うとともに、民生児童委員やボランティアとも連携した課題解決
- ・幼児教室事業や子育て支援に関し、町保健センター等との連携
- ・社会福祉実習生の受け入れ…天理大学3名

(5) 専門職の派遣による福祉施策の充実

1)町行政への派遣

福祉関係有資格者の専門職を町行政へ派遣することにより、安定と地域に根差した福祉施策への展開及び活性化を図る

- ・長寿介護課（地域包括支援センター）への派遣者総数…9名〔10名〕
- ・健康福祉課への派遣者総数…1名〔1名〕